

【今月の目次】

- 1.学校における教育活動と著作権に関する研修会について
- 2.ICT活用ワンポイント講座（ノートパソコンのタッチパッドの活用）
- 3.コラム「デジタルネイティブの入力スタイル」



1.学校における教育活動と著作権に関する研修会について

ICT教育支援センターでは、研修会番号622「学校における教育活動と著作権に関する研修会」を10月3日（木）オンラインにて実施しました。

義務教育における1人1台端末の普及や、高等学校におけるBYOD端末の導入により、児童生徒が他人の作品を入手したり、自分の作品を公表したりすることが容易にできるようになりました。その一方で、デジタルでのデータのやり取りや加工、ダウンロード等の機会が増加し、著作権について指導することがこれまで以上に求められています。本研修会のねらいは、学校における教育活動に必要な著作権の理解を深めるとともに、児童生徒に指導すべき著作権の内容について学ぶところにあります。

講師には昨年度に引き続き、公益社団法人日本複製権センター理事長 川瀬 真様をお招きし、「学校教育における著作権とその取扱いについて」と題してご講演いただきました。研修会には61名の先生方と参加希望のあった山梨県立大学の学生11名が参加し、授業における著作権の考え方や教職員が著作物を利用する際に必要となる知識について学び、理解を深めました。さらに研修会の後半では、参加された先生方から事前にいただいた質問について全体で共有し、学校現場における著作権に関わる具体例を基に、講師からお話をいただき、深い学びの機会になりました。

今後も、学校における教育活動を進める際に必要となる著作権に関する理解を深めるとともに、児童生徒の情報活用の基盤となる知識・態度の育成に努めていきたいと思います。なお、文化庁著作権課のホームページには、著作権に関する様々な資料がありますので、参考にしてください。



2. ICT活用ワンポイント講座（ノートパソコンのタッチパッドの活用）

ノートパソコンのタッチパッドの基本的な動作は「マウスポインタを動かす」ことですが、これ以外の使用方法がありますので紹介します。

※機種やWindowsの設定によって違う場合もありますのでご注意ください。

2本指で上下にスライド：

画面を上下にスクロールすることができます。Web や PDF などを読む際に便利です。

2本指で左右にスライド：

画面を左右にスクロールできます。Excelなどに便利です。

また、ブラウザで Web ページを表示している際は、「進む」「戻る」になります。

2本指で指を広げる・狭める：

表示内容を拡大・縮小することができます。

3本指で左右にスライド：

起動しているアプリケーションを切り替えることができます。

3本指で下にスライド：

デスクトップを表示（全てのウィンドウを最小化）します。

直後に3本指で上にスライドすると元のウィンドウ配置に戻ります。

4本指で左右にスライド：

Windows の仮想デスクトップ間を切り替えできます。



3. コラム「デジタルネイティブの入力スタイル」

生徒がパソコンのキーボード入力をしている様子を観察していたとき、「今どきだなあ」と感じたことがありました。それは、キーボード入力と予測変換の利用についてです。

スマートフォンでは、単語の一部を入力することで一定の長さの文が表示される、予測変換機能を使うことが当たり前になっています。おそらく今の生徒のほとんどが、「入力する」という機能を、スマートフォンから使い始めたのだと思われます。そのため、一定数の生徒は、パソコンでもこれが当たり前になっており、キーボードでの入力中に、予測変換が表示されたらマウスに持ち替え、表示された予測変換をクリックしています。キーボードを使って、ある程度の速度で入力できる人からすると、「わざわざマウスを持ち替えるよりもキーボードを打ってしまった方が早い」と感じると思うのですが、それが当たり前になっている生徒にしてみると、そうではないのかもしれない。

ブラインドタッチがいつまでたっても身につかないのは、スマートフォンの普及によって予測変換が充実してきていることも一つの要因なのかな、と感じました。余談ですが、せめて予測変換を利用する際には、Tab キーか Space キーを利用してもらいたいものです。



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「EdTech【エドテック】」

「Education（教育）」と「Technology（科学技術）」を組み合わせた造語。これは、科学技術を活用して教育を革新する取り組みを指します。具体的には、AI（人工知能）やビッグデータなどの新しい技術を活用して、教育の質を向上させることを目指しています。日本では、文部科学省が EdTech を「教育における AI、ビッグデータ等の様々な新しいテクノロ

ジーを活用したあらゆる取組」と定義し、各学校への導入を推進しています。例えば、GIGA スクール構想や未来の教室プロジェクトなどはその一環です。EdTech の導入により、個別最適化された学習や、時間や場所にとらわれない学びが可能になり、教育の質の向上が期待されています。

ICT 教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思っております。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター
〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456
TEL:055-262-5508 (直) /FAX:055-262-5572
お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

バックナンバーは [こちら](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492) https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492